

6. 滞留水等の分析

6.1 分析試料

堆積物採取後から蛍光 X 線分析までの作業フローを図 6.1-1 に示す。また、蛍光 X 線分析用試料と上澄み液の外観を図 6.1-2 に示す。採取後の堆積物は沈殿させた後、上澄み液を別の容器に移し、蛍光 X 線分析後、上澄み液を入れた核種分析用試料と一緒にペール缶に収納し、東京電力殿へ引き渡した。

蛍光 X 線分析の状況を図 6.1-3 に示す。蛍光 X 線分析では、分析用薄膜に付着させた堆積物を 4 回分析した。分析対象の量が足りない場合、20 秒程度で分析装置が自動停止するが、本分析では 4 回全て 80 秒間計測されたことから、蛍光 X 線分析に必要な量の堆積物が分析用の薄膜に付着したと考えられる。

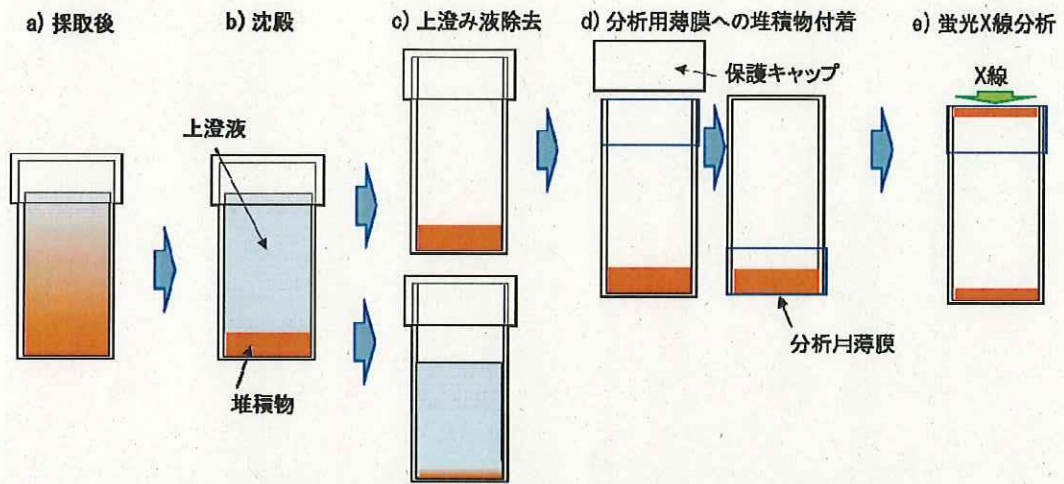


図 6.1-1 堆積物採取後から蛍光 X 線分析までの作業フロー


		蛍光 X 線分析用試料	上澄み液
写真			
表面線量率	γ 線	6.0mSv/h	0.18mSv/h
	$\gamma + \beta$ 線	15.0mSv/h	0.23mSv/h

図 6.1-2 蛍光 X 線分析用試料と上澄み液の外観